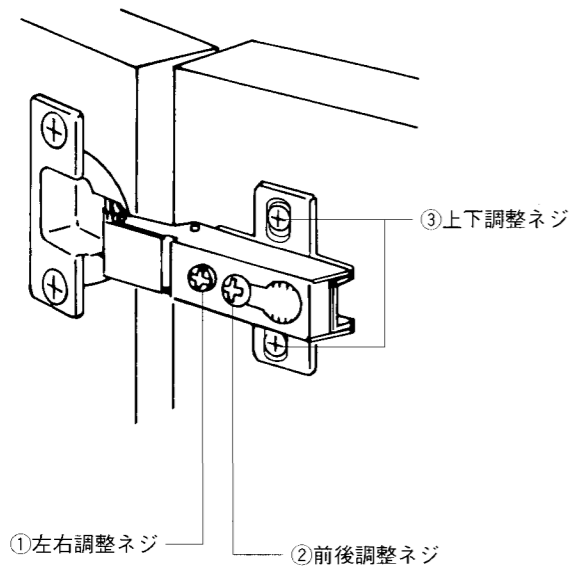


扉の取外し・取付け・調整方法

●扉の面違い、段違い等がある場合は、スライド蝶番で扉の調整をしてください。



・扉の左右調整
②のネジを締めたまま①のネジを回して調整してください。

外側によせる
①のネジ
内側によせる

・扉の前後調整
②のネジをゆるめ、調整後、締め直してください。

・扉の上下調整
③のネジをゆるめ、調整後、締め直してください。

据付け後の点検

●据付け工事が完了しましたら以下の項目について点検してください。

- ・扉の傾き、ガタつき、蝶番のゆるみはありませんか。
- ・水栓の吐水状態、水もれの有無、シャワーホースの出し入れの状態などの確認。
- ・キャビネットの付属品は、全て揃っていますか。
- ・キャビネットは、確実に固定されていますか。

8

株式会社ミカド

住宅・都市基盤整備公団指定
国土交通大臣許可(般・14)第11379号・建設省優良住宅部品認定(BI商品)

本社 大阪府北区大淀南1丁目10番9号 〒531-0075 ☎(06) 6455-2660
 東京支社 東京都千代田区番町18番地 川喜多モリアルビル3F 〒102-0082 ☎(03) 3262-5017
 西東京支社 立川市若葉町3丁目25番1号 〒190-0001 ☎(042) 534-7771
 中部支社 名古屋市中区昭和区滝子町28番23号 〒466-0053 ☎(052) 884-8251
 大阪支社 大阪府北区大淀南1丁目10番9号 〒531-0075 ☎(06) 6455-2670
 兵庫支社 神戸市中央区中山手通り2丁目1番8号 〒650-0004 ☎(078) 331-1751
 中・四国支社 広島市東区戸坂千足1丁目12番23号 〒732-0009 ☎(082) 229-7881
 九州支社 福岡県春日市一の谷1丁目166番地 〒816-0852 ☎(092) 584-5461

AD0410

説No.L134-2

お客様保管用

お使いになる前に必ずお読みいただき記載の注意表示にしたがって正しくお使いください。
 なお、本書を紛失及び破損された場合は、販売店又は最寄りの弊社事務所までご請求ください。

多目的洗面化粧台 取扱説明書・据付工事説明書

TLCF-75CS TLCF-60CS
 TLCF-75C TLCF-60C

工事店様へ：本書は取扱い説明書と兼用になっています。
 据付け後はお客様にご使用方法を説明の上、必ず本書をお渡しください。

安全上のご注意 (必ずお守りください)

- ここに示した注意事項は、守らないと人身事故や家財の損害に結びつくものです。安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見ることが出来る場所に必ず保存してください。
- 表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。

⚠ 注意 この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が負傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

●お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。

- ⊘ このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。
- ⚠ このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。

⚠ 注意

- 扉が傾いたり、ガタついている時は、蝶番のねじをしめ直してください。

 扉が落ちて、ケガをするおそれがあります。
- 扉や取っ手、引き出しにぶら下がらないでください。

 扉や取っ手、引き出しがはずれて、ケガをするおそれがあります。
- 扉を大きく開けすぎないでください。

 扉がはずれて、ケガをするおそれがあります。

1

3405

⚠ 注意

● 組込まれる機器・水栓金具などについては、それぞれの取扱説明書及び製品本体に表示されている事項をお守りください。

❗ 使い方を誤ると、思わぬ事故や故障の原因になることがあります。

● 廃棄処分の際は、必ず許可を受けている業者に処理を依頼してください。

● 固形または粉末の塩素系洗浄剤・漂白剤は、使ったり、近づけたりしないでください。



水や湿気に反応して発生するガスが、ステンレス等の金属やゴムの腐食・劣化の原因になります。保管の場所や方法に十分注意してください。その他の洗浄剤・漂白剤は使用上の注意をよく読んでお使いください。

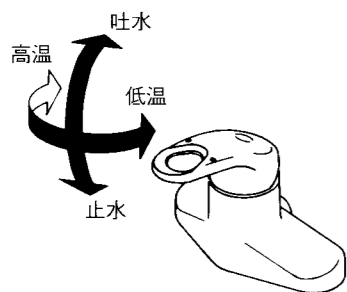
ご使用方法

● お客様がお買上げになりました商品とこの説明書の内容とは、機種・間口などにより一部仕様が異なることがあります。

■ シングルレバー混合水栓

吐水・止水・温度調節・流量調節をレバーハンドルの上下左右の動きで自由に調整・操作できる混合水栓です。

HSM-01F
HSU-01F



■ ツーハンドル混合水栓

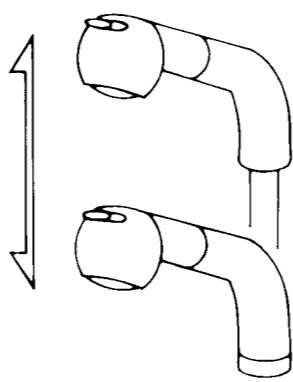
赤表示キャップのハンドルが給湯。青表示キャップのハンドルが給水。両方のハンドルを操作して、好みの温度に調節してください。尚、火傷防止のため、給水ハンドルから操作してください。

HTU-02L



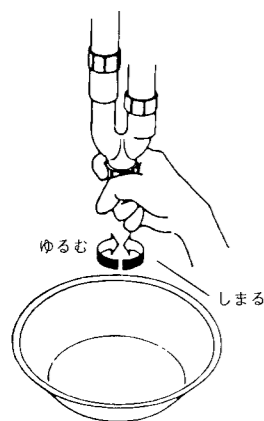
■ リフトアップシャワースタンド

シャワーホルダーを持ち、引き抜くように持ち上げてください。カチッと音がした位置で固定されます。また、下げる時はそのまま押し下げてください。



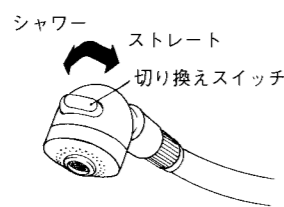
■ 排水栓

Uトラップの下へトレイを用意し、キャップを取外し栓内に詰まった髪の毛やゴミを取り除いてください。



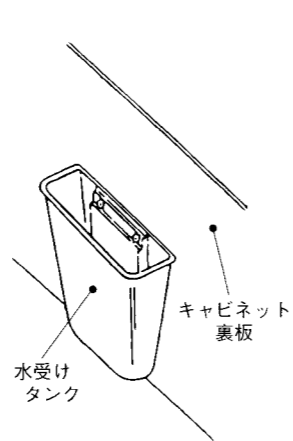
■ 洗髪シャワーの切換え

シャワーヘッドのボタンを押して切換えてください。



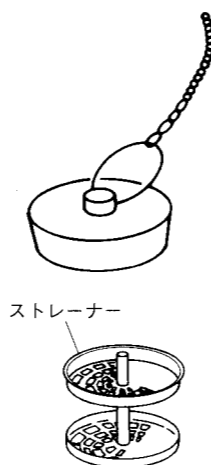
■ 水受けタンク

タンクの中に水がたまったら、タンクを取外し水をすててください。



■ ストレーナー

ゴム栓をとりますと、ストレーナーがついています。排水栓の目詰まりを解消します。

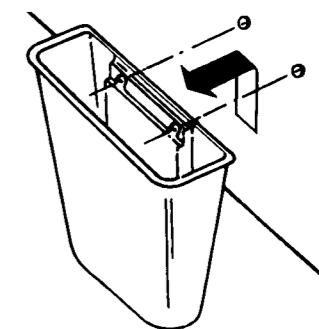


水受けタンクの取外し取付け

TLCF-75CS・TLCF-60CSのみ

① 水受けタンクを持ち上げて手前に引き、フックより水受けタンクを外してください。(図1)

※ 水受けタンクを無理に引っばらないでください。水受けタンクが壊れるおそれがあります。

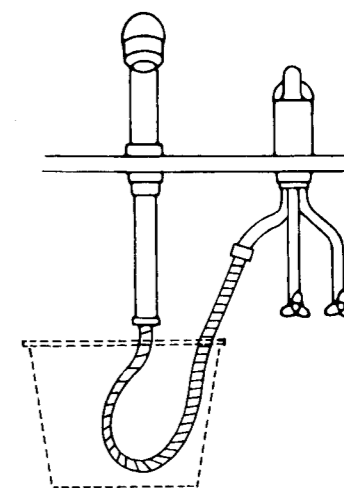


(図1)

② 取付けは、取外しと逆の手順で行ってください。

③ 水栓金具のシャワーホースを水受けタンク内に納めてください。(図2)

※ シャワーヘッドを出し入れし、シャワーホースが水受けタンクに確実に納まることを確認してください。



(図2)

お手入れの方法

■ いつまでも、美しく清潔にお使いいただくには、普段のお手入れが大切です。日頃から、こまめにお手入れをしてください。

部 分	お手入れ方法
ボウル	<ul style="list-style-type: none"> ・ 堅い物を落したりぶついたりすると割れるおそれがありますので注意してください。 ・ 中性洗剤を含ませたスポンジ又は、布で洗い流してください。酸性洗剤やクレンザー及びたわし等は、表面を傷つけますので使用しないでください。
扉 キャビネット プラスチック部	<ul style="list-style-type: none"> ・ 扉が傾いたり、ガタついていると、扉が落ちて、ケガをするおそれがありますのでそのつど蝶番のネジをしめなおしてください。 ・ 水でうすめた中性洗剤を含ませた布で拭いてから水拭きし、最後に空拭きしてください。 ・ シンナー・ベンジンなどの溶剤やトイレ、バス、タイル用洗剤は表面を侵したり傷を付けますので使用しないでください。
排 水 栓	<ul style="list-style-type: none"> ・ 排水栓に詰まった髪の毛やゴミは、こまめに取り除いてください。
水栓金具	<ul style="list-style-type: none"> ・ 器具に付属の取扱説明書に従ってください。

工事店様へ

安全上のご注意

据付け工事の前に、必ずこの「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく据付けてください。

- 表示内容を無視して誤った工事をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で説明しています。



警告

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。



注意

この表示の欄は「取扱いを誤った場合、使用者が負傷を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

- お守りいただく内容の種類を、次の図記号で区分し、説明しています。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、その行為を禁止する図記号です。



このような図記号は、製品の取扱いにおいて、指示に基づく行為を強制する図記号です。



警告

- 電気工事・水道工事は、関連する法令・規程にしたがって、必ず「有資格者」が行ってください。



火災、感電、水漏れの原因になることがあります。

- キャビネット、ミラーパネルの据付けは、建築壁の構造を確かめて、工事説明書通り正しく行ってください。



据付けを誤ると落下してケガをするおそれがあります。



注意

- 棚板を設置するときは、棚受けをすきまのないように根元まで確実に差し込んでください。



棚板がはずれ収納物が落下してケガをするおそれがあります。

- 工事完了後、扉が傾いたり、ガタついているときは、蝶番を確実に取付けてください。



使用中に扉が落下してケガをするおそれがあります。

- 排水器具、排水ホースの取付け及び給排水管の接続部分のシールを確実に行ってください。



水が漏れ、床などが腐るおそれがあります。

- 排水管の接続部分に必ず防臭キャップを取付けてください。



湿気が上がり床などが腐るおそれがあります。

- 組込まれる電気機器・水栓などについては、それぞれの施工説明書及び製品本体の表示事項を守り、正しく設置してください。



思わぬ事故や、故障の原因になることがあります。

- 廃棄処分の際は必ず許可を受けている業者に処理を依頼してください。



- 当社製品に使用する材料や接着剤等は、JIS/JAS又は国土交通大臣の認定を受けた「F☆☆☆☆」の材料を使用しております。
- そこで、施工時に使用する下地材、接着剤、塗料等についても「F☆☆☆☆」レベルのものをお選びください。
- ホルムアルデヒド発散量の多い下地材、接着剤、塗料等を使用すると、室内のホルムアルデヒド濃度を高めることとなります。

据付け前の注意

- 陶器ボウルの巾法には多少バラツキがありますので、据付けスペースの有効間口は750タイプは770mm・600タイプは620mm位確保してください。

- 床は水平で、床強度があるか、確認してください。

- 給水・給湯管及び排水管は、所定の位置に取り出されていることを確認してください。取り出し位置は寸法図を参照してください。排水管は、床仕上げ面から約30mm立上げてください。

- 取付け壁の強度を確認してください。強度が不足しているときは、補強してください。

仕様一覧

品番	TLCF-75CS	TLCF-75C	TLCF-60CS	TLCF-60C
寸法図				
対応水栓	HSM-01F	HSU-01F HTU-02L	HSM-01F	HSU-01F HTU-02L
洗面ボウル	陶器一体型 (容量12ℓ)		陶器一体型 (容量11ℓ)	
扉	ポリエステル化粧扉			
小物	トレイ・パーハンドル			
排水口	1½インチ、ゴム栓式			
排水栓	樹脂製、ストラップまで			
水受けタンク	1コ	—	1コ	—
ネジ	コースレッドネジ (⊕平頭φ5.3×55mm)			

■水栓金具 (全て別梱包)

種類	シングルレバー混合水栓(インナーホース)	シングルレバー混合水栓(アウトホース)	ツーハンドル混合水栓(アウトホース)
品番	HSM-01F(MYM製)	HSU-01F(TBC製)	HTU-02L(TBC製)
姿図			

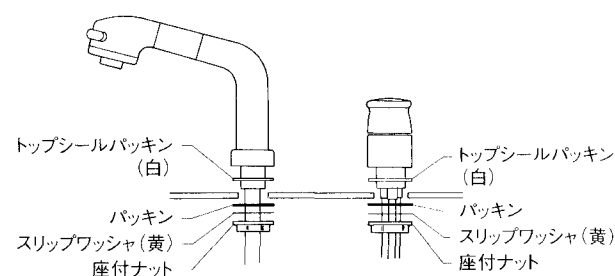
据付け上の注意

- 据付け場所は、湿気の少ない所にしてください。
浴室のように湿気の多い場所への据付けは、木部が膨張するおそれがありますのでお避けてください。
- 直射日光や高温にさらされる場所への据付けは、変色・変形のおそれがありますのでお避けてください。
- アングル止水栓は別途にご用意ください。
- 給湯側の接続部には、元止め式の給湯器を接続しないでください。
- 現場で排水栓をゆるめたりはずしたりしたときは、必ず再度コーキング剤を塗布してボウルに締付けてください。
- 洗面ボウル、キャビネットに堅い物をぶつかけたり、物を落したりしないでください。特に洗面ボウルは、陶器製ですので、上に乗ったり、工具類を落したりしないでください。割れることがあります。
- 防臭キャップは下水から悪臭や蒸気が入るのを防ぎ、床やキャビネットの底板を湿気から守りますので、必ず取付けてください。

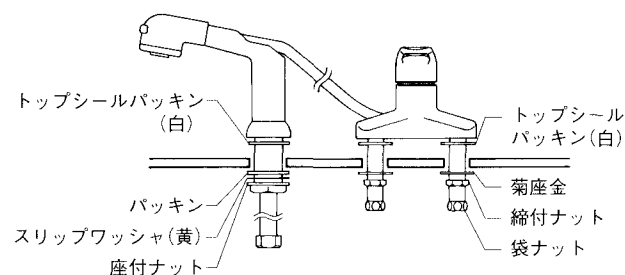
据付け工事

- ①ボウルに水栓金具を取付けてください。取付けは、水栓金具に付属の説明書にしたがって正しく据付けてください。

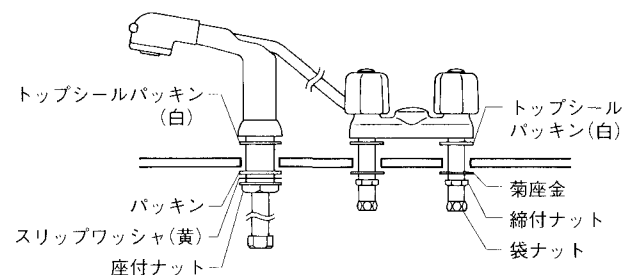
■シングルレバー 混合水栓 HSM-01F



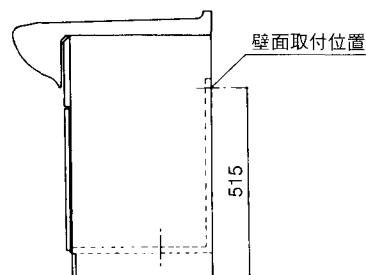
HSU-01F



■ツーハンドル 混合水栓 HTU-02L

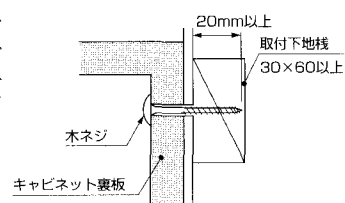


- ②洗面化粧台を床面に平行になるよう据付けてください。ガタつきのある場合、底部に薄板などを入れて調整してください。
- ③同梱のコースレッドネジ(⊕平頭φ5.3×55mm)で洗面化粧台を壁面に固定してください。



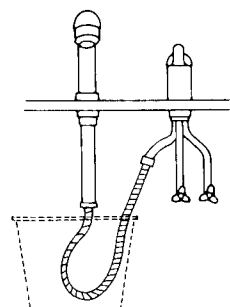
⚠ 注意

安全のため取付ネジは、取付下地材に20mm以上確実にきかせてください。壁材の厚みにより、この寸法が確保できない場合、又は、壁を貫通する恐れのある場合は、別途適当な長さの木ネジをご用意ください。



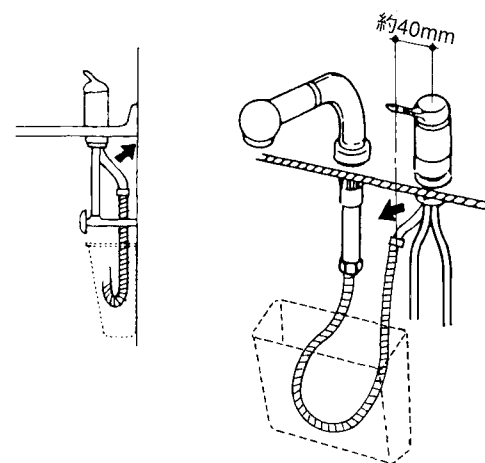
- ④ボウルに取付けた水栓金具のシャワーホースを図のように配管してください。

TLCF-75CS・TLCF-60CSのみ

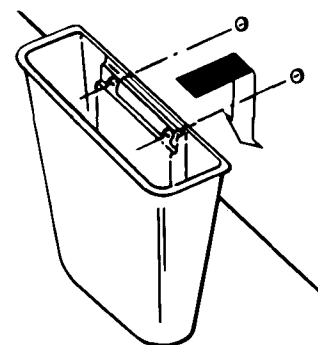


- ⑤シャワーホースを後方に軽く曲げてください。

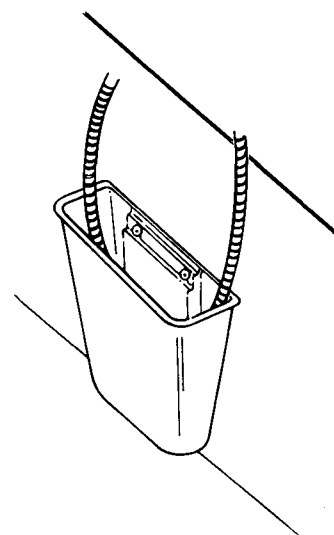
TLCF-75CS・TLCF-60CSのみ



- ⑥水受けタンクを裏板のフックに引っ掛けてください。

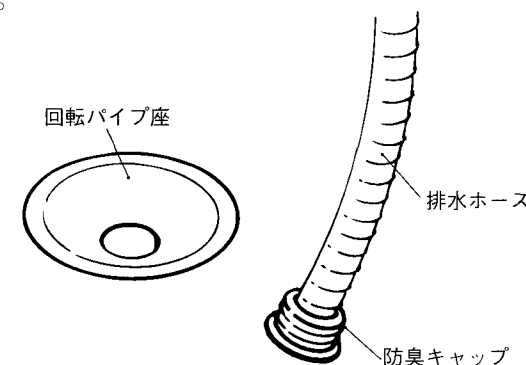


- ⑦水栓金具のシャワーホースを水受けタンク内に納めてください。

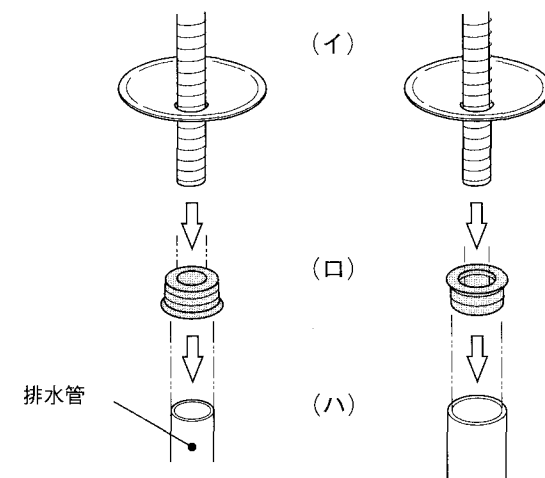


※シャワーヘッドを出し入れし、シャワーホースが水受けタンクに確実に納まることを確認してください。

- ⑧図の様に防臭キャップは、セットされていますので、回転パイプ座と伴に予め外しておいてください。

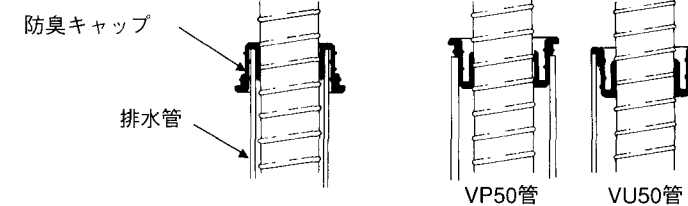


- ⑨防臭キャップを図(イ)～(ニ)の順に取付けてください。この時、排水管のサイズにより、取付方向が異なりますので注意してください。



40A管

50A管



- (イ) 排水パイプに回転パイプ座をはめてください。
- (ロ) 排水パイプに防臭キャップをはめてください。
- (ハ) 防臭キャップをはめた排水パイプを、下水の立上り管べししっかりと差し込んでください。
- (ニ) 回転パイプ座をキャビネット地板位置へ戻してピッタリとはめてください。